



尾瀬がめざす姿

みんなの財産である尾瀬をこれからも守り続けていくため、活かしたい尾瀬の強みを高めながら、3つの視点を大切に「みんなに愛され続ける尾瀬」を目指しましょう。

- 1 「生きもの」の視点
尾瀬本来の生きのものがいるまに生きている
- 2 「利用者」の視点
いつも来ても楽しく誰もがわくわくできる
- 3 「地域」の視点
地域の人々が誇りを持っていきいきできる

行動理念

「尾瀬がめざす姿」を実現するため、次の行動理念に基づき行動しましょう。この考えは、前回の尾瀬ビジョンから大切に引き継がれてきたものです。

みんなの尾瀬をみんなで守り みんなで楽しむ

- 1 みんなの尾瀬
尾瀬の普遍の価値を広く発信し、尾瀬を愛する輪を広げていきましょう。
- 2 みんなで守る
かけがえのない尾瀬をみんなで守り育て、しっかりと次代に引き継いでいきましょう。
- 3 みんなで楽しむ
自然を損ねない楽しみ方を考えながら、みんなが訪れたくなる尾瀬にしましょう。

新・尾瀬ビジョン
～「あなた」と造る「みんな」の尾瀬～
詳細タブロードはこちら



尾瀬国立公園について

名峰に囲まれ花咲き乱れる日本最大の山岳湿原
尾瀬国立公園の歴史は古く、昭和9(1934)年に日光国立公園の一部として指定されていましたが、平成19(2007)年に日光国立公園から尾瀬地域を分離し会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などを編入して、29番目の国立公園として指定されました。尾瀬の名は、唱歌「夏の思い出」でも広く知られており、日本最大の山地湿原である尾瀬原、噴火によって沼尻川の源流部が堰き止められてできた尾瀬沼、これらを含む至仮山、駒ヶ岳、会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などの山々が織りなす美しい風景を特徴しています。また、尾瀬は、過去に幾度も開発の危機にさらされてきましたが、多くの人々の努力によって今日でも貴重な自然が保たれており、日本の「自然保護運動の原点」とも呼ばれています。

指定：平成19年8月30日 面積：37,222ha

尾瀬は国立公園です。

将来にわたって尾瀬の自然を楽しむことができるよう、尾瀬国立公園は全域にわたり「特別保護地区」とび「特別地域」に指定され、生態系と景観が厳重に保護されています。



尾瀬はラムサール条約湿地です

多様な生物を育む重要な湿地を、国際的に守るラムサール条約により、尾瀬は湿原生態系としての価値が評価され、2005年1月に「ラムサール条約湿地」として登録されました。



尾瀬は特別天然記念物です

尾瀬は、国の「特別天然記念物」に指定されています。学術的価値が高く、その保存が厳しく義務づけられています。



安全登山のお願い

余裕を持った計画で

自分の体力や体調に合わせて、必要な装備をととのえ、適切なコースを選び、体力・時間に余裕を持った計画が大切です。登山初心者の方は登山経験のある方と一緒に登ることをお薦めします。

歩くときの注意

尾瀬でのケガの7割以上が木道上での転倒・転落です。まずは小さな歩幅でマイペースで歩くことが、安全で疲れない歩き方です。木道に取り付けられた横木等を利用すると、スティックを使う、グリップ力のある靴を履く等、小さな積み重ねが足の負担を軽減します。ストックは先端のゴムキャップを付けずに登山道や木道を必要以上に突刺すると、早に壊れてしまうので注意しましょう。

天候の確認

入山する前に必ず天気予報を確認しましょう。また、山岳地であり、天気が変わりやすく朝晩は冷え込むため、雨具や防寒具は必ず準備しましょう。天候の変化に応じて途中で下山したり、予定コースを変更する等の判断も大切です。

自分の存在をしらせよう
人通りの少い場所では、静や声などで自分の存在を伝える。



朝夕の薄暗い時間帯はクマの活動が盛んなのでなるべく行動を避けろ。

食べ物の管理をきちんとしよう
食べ物を落としたときに、クマを呼ぶことになるので、食事後は周辺をよく確認し、捨てる持ち帰ってください。

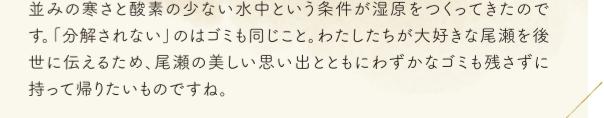
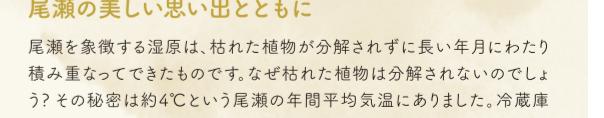
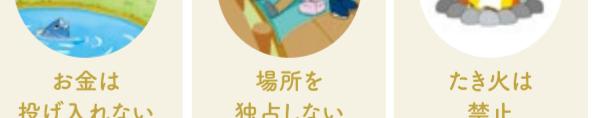
あわてない、ゆっくりの場から離れてください。
さわがない、大声を出さない。写真撮影をしない。

走って逃げない、走るクマは追いかけられます。

子グマに近づかない
子グマに不用意に近づくと、子グマを守るために親グマが攻撃してしまうことがあります。たとえ見えてくとも親グマが近くにいるので、可愛いとも絶対に近づいていけません。

尾瀬のトレイル事情
山岳地に設置されるトレイルは、水・電気・アクセス道等の厳しい条件下で移動するため、管理には多大な労力と経費が必要です。例えば、尾瀬には車道がないため汚泥等の搬運にはリコピーターを使用しますがその費用は莫大なものであります。そのため、尾瀬では各トレイルをチケットにして、1回10円程度の料金を支払う必要があります。登山前にトレイルを購入せよなど、皆様の心掛けて、トレイルの使用回数を抑えることが可能ですが、トレイルを清潔に利用すれば、管理にかかる労力を抑えられます。トレイルに限らず、国立公園の美しさを守るために、皆様のちょっとした心掛けがとても重要なものです。

マナーとルール



異日常との運命的な出会いを体験

多くの山小屋とキャンプサイトがある尾瀬。夕景や朝霧に映える幻想的な風景、手を伸ばせばつかめそうな満天の星空などは、尾瀬に宿泊した人だけの特権です。ゆっくりと流れれる時間、自然と一緒に一体化する感覚、すべてが忘れない特別な体験になります。

早朝の尾瀬原



TOPICS

朝霧の出やすい尾瀬の盆地地形が生み出す「白い虹」。早朝の湿原に発生する朝霧が太陽光が反射することで発生する神秘的な現象です。こんな光景と巡り合ったら、尾瀬の思い出は一層深まるはずです。



尾瀬を象徴する美しい夜の風景。尾瀬は、枯れた植物が分解されずに長い年間にわたり積み重なってきたものです。なぜ枯れた植物は分解されないのでしょう？その秘密は約4℃という尾瀬の年間平均気温にあります。冷蔵庫並みの寒さと酸素の少ない水中という条件が湿原をつくるのです。「解されない」のが最も同じこと。わたしたちが大好きな尾瀬を後世に伝えるため、尾瀬の美しい思い出とともにわざかなごみも残さずに持つて帰りたいのですね。